（別添資料1）

事業所名　発達支援ユニコーン・発達支援ユニコーンⅡ

支援プログラム（参考様式）

作成日　令和7 年 1 月 30 日

法人（事業所）理念		多職種連携、多職種協働による手厚い支援					
支援方針		アセスメントや事例検討を軸とした根拠のある支援					
営業時間		8 時 30 分から 18 時 0 分まで			送迎実施の有無	あり　なし　（児童発達支援のみ）	
		支　援　内　容					
本人支援	健康・生活	基本的生活習慣や社会的マナー、更衣や整容、衛生を促し、食事や睡眠についても指導します。 季節や世情を反映した出来事を話題にする。時には行事の所以について学ぶ。 熱中症をはじめとする諸症状をはじめ、各感染症の基礎知識または対応について理解を深め、自分の身体を自ら守ることの重要性について日頃から指導します。					
	運動・感覚	感覚統合、姿勢保持、歩行着席支援、言語指導（構音指導）、粗大運動・微細運動・協調運動指導などを行います。 言語聴覚士等の行う聴覚トレーニング、視覚トレーニングもこれにあたります。					
	認知・行動	認知行動療法、行動療法、思考整理のフローチャート指導ABA、ロールプレイや模倣支援、ターゲットスキル獲得に向けた場面設定による行動喚起などを行います。 心理士等が子どもの思考を整理することはこれにあたります。					
	言語 コミュニケーション	遊戯療法的な協調支援、コミュニケーション感覚を養うSST、カウンセリング、グループワーク、論理国語などを用いた言語指導などを行います。 心理士等が子どもとの会話の傾聴等をして返報性のあるコミュニケーションを促した場合もこれにあたります。					
	人間関係 社会性	遊戯療法的な協調支援、カウンセリング、企画を通した行事や遊び参加、ルール性のある遊びにおける指導、支援者同伴型の散歩、施設内外の集団活動などを行います。					
家族支援		保護者の子育て相談、発達相談を随時行います。保護者同士の交流の場の企画、研修会等の告知により専門家からの情報提供支援もしています。			移行支援	地域行事への参加、地域での挨拶習慣の推奨、近隣の会社見学、進	
地域支援・地域連携		行政施設（アオーレ長岡、市立図書館、旧市役所、消防署）や近隣施設などへの訪問等をしています。			職員の質の向上	毎日行われる事例検討会、外部講師を招聘しての研修並びに事例検	
主な行事等		お正月、節分、夏祭り、ハロウィン、クリスマス会など季節に合わせた楽しい行事を企画しています。					